

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 大塚 淳平 / 西田 純子 / 田中 祐紀子 / 湊 宏美 / 黒木 知佳 / 森川 貴道 / 高田 稜雅 / 忍海邊 康祐 / 岡村 大輔 / 西村 崇弘 / 藤原 淳美
臨床検査情報センター URL <http://www.hamt.or.jp>

CONTENTS	令和8年度定時総会が開催されました、子宮頸がん予防啓発「LOVE49キャンペーン in KOBE 2026」参加報告 … 1・2
	はばたけ！こいのぼり 2026 に参加して …………… 2
	日本臨床衛生検査技師会「医療管理者」取得にあたって …………… 3
	#研究班（一般検査研究班班長） …………… 3
	[第15回] 突撃！となりの検査室（神戸労災病院） …………… 4
	会員情報「私の推し事」数珠つなぎ VOL.08 …………… 5



令和8年度定時総会が開催されました

令和8年6月13日、兵臨技研修センターにおいて定時総会が開催され、審議の結果、すべての議案が承認されました。

●審議経過

総会議長に坂本秀生会員（神戸常盤大学）、松下里奈会員（神鋼記念病院）が選出され、総会の資格審査では当日出席者31名、委任状出席者413名、議決権行使者数1,307名、合計1,751名（出席率66.7%）で会員の過半数の出席を得て、定款第4章第17条により総会が成立し、議案審議が開始されました。

●報告事項：令和7年度事業報告

令和7年度は、公衆衛生の向上および臨床検査の普及啓発、精度管理事業、学術・技術の振興、会員の資質向上を目的とした各種事業が実施されました。市民公開講座や「LOVE49キャンペーン in KOBE」、「検査と健康展」などを通じて県民への啓発活動を推進するとともに、兵庫県医師会と連携した精度管理調査や各種研修会を開催し、臨床検査技術の向上に努めました。また、兵庫県医学検査学会や地区活動、災害対策研修なども実施されました。

●第1号議案：令和7年度決算報告・監査報告

竹川経理部長（業務執行理事）より、貸借対照表、正味財産増減計算書、同内訳表、財務諸表に対する注記および財産目録に基づく決算報告が行われました。

続いて、監事である赤沢尚美氏（神戸市立医療センター西市民病院・兵庫県栄養士会）より、事業運営および会計処理が適正に行われているとの監査報告がなされました。

●第2号議案：令和8・9年度理事及び監事選任

令和8・9年度の理事および監事選任について審議され、各候補者はいずれも出席した正会員の議決権の過半数の賛成をもって選任されました。

会員ならびに賛助会員の皆様、関係団体のご支援とご協力に深く感謝申し上げます。今後とも兵庫県臨床検査技師会活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（文責：広報部長 大塚）



子宮頸がん予防啓発「LOVE49キャンペーン in KOBE 2026」

4月9日の「子宮頸がんを予防する日（子宮の日）」にあわせ、4月12日（日）、須磨パティオ・買物広場にて「LOVE49キャンペーン in KOBE 2026」が開催されました。

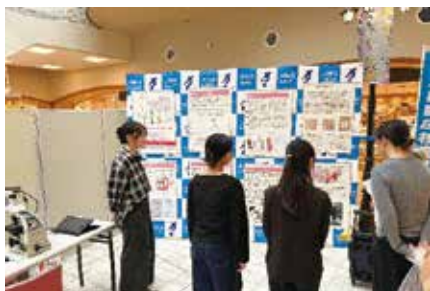
当日は、ミニコンサートやトークイベントに加え、子宮頸がん予防に関する啓発パネルの展示、顕微鏡による子宮頸がん細胞標本の観察コーナー、LOVE49KOBE 学生広報担当「ときわがかり」による発表などが行われ、多くの来場者が足を止めて関心を寄せてくださいました。

子宮頸がんは、HPV感染が主な原因とされ、若い世代にも発症し得る身近ながんです。一方で、HPVワクチンによる予防と、子宮頸がん検診による早期発見が重要であり、現在も20歳以上では2年に1回の細胞診による検診が推奨されています。また、令和6年4月からは国の指針にHPV検査単独法が追加され、30～60歳を対象に5年ごとの検診方法として位置づけられています。

今回の活動では、検診の大切さを伝えるだけでなく、細胞診や病理・細胞検査に関わる臨床検査技師の役割を知っていただく機会にもなりました。参加者からは、検査の方法や臨床検査技師の仕事についての質問もあり、啓発活動が職能理解の促進にもつながることを改めて実感しました。

今後も当会では、関係団体と連携しながら、子宮頸がん予防に関する啓発活動を継続し、検診受診率の向上と臨床検査技師の職能理解の促進に努めてまいります。

(文責：公益事業部長 澤村暢)



「はばたけ！こいのぼり2026」に参加して

令和8年5月5日、豊岡市中央公園において開催された「はばたけ！こいのぼり2026」に、兵臨技は後援団体として参画し、臨床検査技師の仕事を紹介する体験ブースを出展しました。

当日は天候にも恵まれ、会場全体で約5,300名の来場があり、運営関係者も約400名にのぼる大規模なイベントとなりました。お仕事体験には全体で827名が参加し、そのうち兵臨技ブースには255名の方にお越しいただきました。想定を超える来場者数となり、準備していた配布資料が不足するほどの盛況ぶりでした。

ブースでは、子どもたちが実際に器具に触れたり、模擬的な検査を体験したりしながら、臨床検査に親しんでもらう内容を実施しました。参加者の中心は、3月末に実施された医療職体験セミナーと同様に、小学校低学年以下の子どもたちでした。そのため、臨床検査技師の仕事内容や検査の役割を十分に理解してもらうことは難しい面もありましたが、体験を通して楽しみながら取り組む姿が多く見られました。

まずは「楽しかった」「やってみたい」と感じてもらうことが、将来の職業理解につながる第一歩になると感じています。また、子どもたちの体験を見守る保護者の方々にも、臨床検査技師という職種を知っていただく機会となりました。普段、臨床検査技師の仕事は一般の方から見えにくい部分も多いため、今回のような体験型イベントは、職能を広く知っていただくうえで大変有意義であったと考えます。

今後も、低年齢の子どもたちにも分かりやすい説明や体験内容を工夫しながら、臨床検査技師の認知度向上につながる取り組みを継続してまいります。

(文責：公益事業部長 澤村暢)





日本臨床衛生検査技師会「医療管理者」取得にあたって

兵庫医科大学病院 臨床検査技術部 輸血・細胞治療センター 池本純子

このたび、日本臨床衛生検査技師会「医療管理者」の認定を取得いたしました。

資格取得を目指したきっかけは、日々の検査業務に加え、組織運営や人材育成に関わる中で、医療安全やマネジメントについて体系的に学ぶ必要性を感じたためです。臨床検査技師として専門知識を深めるだけでなく、組織全体を俯瞰し、より質の高い医療の提供に貢献できる力を身につけたいと考え、受験を志しました。

取得までの過程では、業務や日常生活と学習時間との両立に苦労しました。関連法規、医療安全、組織管理など幅広い分野について学ぶ必要があり、限られた時間の中で計画的に学習を進めることを意識しました。まとまった時間を確保することが難しい中、通勤時間や家事の合間などの隙間時間を活用し、少しずつ学習を積み重ねることで理解を深めていきました。

また、集合研修では、地域や年齢、専門分野の異なる全国の技師の皆さまとともに学ぶ機会を得ることができ、多くの刺激と学びを得ました。学習を通じて、日常業務を改めて見直す機会となり、自施設における業務改善や人材育成について新たな視点を得ることができたと感じています。

これから受験を考えている方には、認定取得を単なる資格取得としてではなく、自身の視野を広げ、日常業務や組織運営に活かすための貴重な学びの機会として挑戦していただきたいと思います。学習と業務の両立は容易ではありませんが、得られる知識や経験は今後の業務に役立つものと感じています。ぜひ積極的にチャレンジしていただければ幸いです。

●医療管理者資格認定制度について●

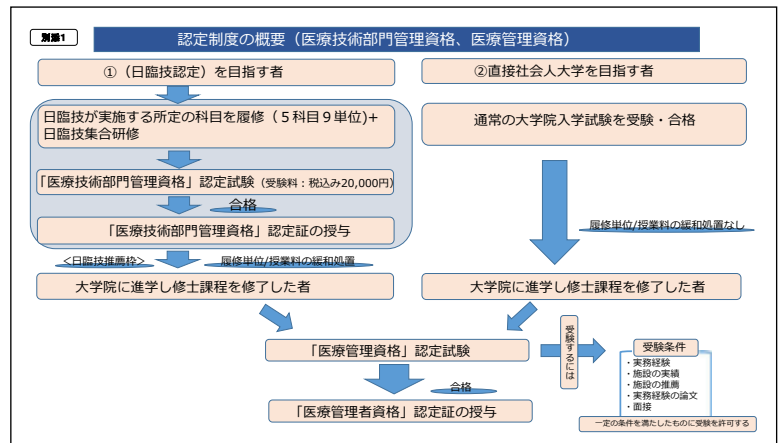
本臨床衛生検査技師会の「医療管理者資格認定制度」は、病院経営や医療組織運営まで視野に入れた“次世代型マネジメント人材”の育成を目的とした認定制度です。

<https://www.jamt.or.jp/studysession/center/system06/>

制度は大きく2段階に分かれており、まず「医療技術部門管理資格」において、eラーニングによる科目履修、集合研修、認定試験を通じて、部門運営や管理に必要な知識を学びます。その後、上位資格である「医療管理者資格」では、連携大学院において医療経営や病院運営などを学び、修士課程修了後に認定試験へ合格することで認定されます（別添1）。

eラーニングでは、医療管理概論、病院運営管理論、病院経営学、医療経済学、ロジカルコミュニケーションなど多岐に亘り学び、組織マネジメント、医療安全、人材育成、他職種連携などへの理解を深めます。

本制度は、「検査ができる人」から「組織を動かせる人」へのステップアップ資格として位置づけられており、今後の臨床検査技師に求められるマネジメント能力の向上にもつながる制度であると感じています。



千葉科学大学院HPより（<https://www.cis.ac.jp/>）

研究班



中島 和希 会員（一般検査研究班 / 兵庫県立はりま姫路総合医療センター）

一般検査研究班の中島和希（兵庫県立はりま姫路総合医療センター）です。一般検査研究班では、卒後教育の場となるよう積極的に研修会を開催しております。上半期は基礎講義として尿検査や髄液検査、寄生虫検査、体液液検査を実施しています。一般検査はほとんどの施設で院内検査として実施されていますが指導環境は決して整っているとは言えません。そのため、基礎講義では「検査の意義」、「成分判定のポイント」、「臨床的意義」などを中心に講義しております。

下半期は、病態推定（検査結果から疾患を推定する考え方）や最新のトピックス等を会員の皆様に提供できるよう研修会を企画しております。12月には全国で活躍されている先生をお招きしご講演いただいております。研修会終了後には忘年会も開催しておりますのでこちらも是非ご参加いただけますと幸いです。また、今年度はこれまで兵庫県で開催出来ていませんでしたが、スライドカンファレンス等も企画しております。その他、研修会の開催テーマについて希望がございましたら私までご連絡いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

第15回

突撃！
となりの検査室

独立行政法人 労働者健康安全機構 神戸労災病院（神戸市）

《所在地》〒651-0053 兵庫県神戸市中央区籠池通4丁目1番23号



施設外観

●概要

施設名	独立行政法人 労働者健康安全機構 神戸労災病院（神戸市）
病床数	314床
部署人数	技師／22人 男女比／4：6 経験年数／～5年目3人、～10年目5人、 11年目～14人
勤務体制	勤務時間／8：15～17：00 夜勤体制／当直1人体制
第三者認証	取得済

●検査室で行っている検査領域

検体検査	採血、化学、免疫、血液、一般、微生物、遺伝子、 輸血、病理／その他：石綿小体計測検査
生理検査	心電図、呼吸機能、脳波、聴力検査、神経伝導 速度、エコー

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	石綿小体計測検査
詳細	国立病院機構や労働者健康安全機構の当院を含む一部の病院施設が実施している検査で、肺内の石綿小体数から石綿曝露量を客観的に評価する、労災制度・石綿救済制度における石綿肺がん認定の要件となるものです。厚労省の統計では、石綿による疾病別で肺がんの労災保険申請・決定件数は増加傾向にあり、今後も需要の絶えない重要な検査であるため、適切な認定と救済につながる精度の高い検査体制の維持に努めています。

●新人教育について

新人教育の進め方	当院では、複数の部署を兼任しながら業務に従事します。新人教育は各部署の責任者が中心となっており、技能習得の進捗を確認しながら段階的に指導を進めています。また、その他のスタッフも随時サポートを行い、新人が安心して業務に取り組み、職場環境にスムーズに馴染めるよう努めています。
フレッシュな技師さんから一言	〔横林 萌〕 検体検査部門に配属され、生化学・血液・細菌検査など、さまざまな業務に取り組む中で、多くの学びを得る日々を過ごしています。覚えることが多く難しさを感じる場面もありますが、先輩方の丁寧なご指導に支えられ、少しずつ業務に慣れてきました。新しい知識や技術を身につけるたびに、自分の成長を実感しています。今後も学ぶ姿勢を忘れず、より一層責任感を持って日々の業務に取り組みたいです。

●採血室の状況

台数	4台	採血数/1日	120/1日
構成メンバー	技師1人、看護師2人（午前のみ）		

●検査領域

分野	検査機器	年間件数
採血	BC・ROBO-8000	28,237
化学	BM6050 2台	908,417
免疫	ルミパルスL2400 1台	42,263
血液	XN2000 1台、XN1000 1台 CS5100 1台、HA8180 1台	104,390
一般	AX-4061、UF-5000	14,752
微生物	VITEK2	一般細菌：4,557 血液培養：4,414
遺伝子	Smart Gene、LAMP	676
輸血	VISION	6,281
病理	Tissue-TecVIP6AI等	2,892
心電図	FCP-9800	6,084
呼吸	System21	3,707
神経生理	ニューロバック、MEB-2300	354
聴力	オージオメーターAA-74	2,099
エコー	Aplio、Epiq	7,845

●運用面での工夫など

少人数運営の工夫として、患者が集中しやすい採血や一般検査を、生理・検体・病理スタッフが兼務できる体制を整えています。この仕組みにより、突発的な業務増にも柔軟に対応でき、各部門の欠員調整もスムーズに行えるようにしています。

●技師長より、読者へ向けて一言よろしくお願ひいたします

当検査部では、スタッフが安心して働ける環境づくりを重視し、心理的安全性の向上に取り組んでいます。自由に意見を交わせる風土や学び合う文化を育てることで、一人ひとりが最大限の力を発揮できる職場を目指し、検査の質向上と患者さんへのより良いサービス提供につなげていきたいと思っています。

文責：向井 春喜 会員
（神戸労災病院）

病理検査室
位相差顕微鏡と石綿小体画像

生化学検査



生理検査室 甲状腺エコー



カフェ巡り

川上 皓大 会員(神戸市立医療センター西市民病院)

神戸市立医療センター西市民病院の川上皓大です。私が紹介する推し事は「カフェ巡り」です。休日にInstagramなどで調べたカフェに行って甘い物を食べて楽しんでいます。カフェはお店ごとに雰囲気やメニューが異なり、毎回新しい発見があるところが魅力です。

私がよく訪れるのは元町や梅田です。元町にはレトロで落ち着いた雰囲気のカフェが多く、街並みを散策しながらお気に入りのお店を探



すのも楽しみの一つです。一方、梅田にはおしゃれで流行りを取り入れたカフェが多く、買い物の合間に立ち寄ることができます。同じコーヒーやスイーツでも、お店によって味や盛り付けが違うため毎回新鮮な気持ちで楽しめます。

私がこれまで行ったカフェの中でおすすめを3つ紹介したいと思います。1つ目はwe love donutです。ここはホワイティ梅田にあるドーナツ屋さんで全国に4店舗あります。私はここのドーナツが一番好きで、生地がもちりしていて美味しいです。2つ目はケンパーランドです。ここは神戸の小野柄通というところにあるカフェで、落ち着いた雰囲気のカフェです。自分でコーヒー豆を選ぶことができ、こだわりのあるマグカップで提供されます。とても美味しく、ほっと一息つけるようなカフェです。3つ目はパフェ&ジェラート ラルゴです。ここはルクア1100にあるカフェで、様々な種類のケーキやパフェがあります。1回では楽しみきれないのでもう一度行ってみたいです。

もし気になるお店があれば、皆さんも是非訪れてみてください。





Together for a better healthcare journey



**全自動免疫測定装置
HISCL™-5000**

医療機器製造販売承認番号：288IX10014000011

**検査環境にフレキシブルに対応
HISCLシリーズ。**

医療環境の検査部門に
求められる効率化と高付加価値化に
必要なポテンシャルを備えて
誕生しました。

迅速測定

高感度

微量検体

優れた
ユーザビリティ



**全自動免疫測定装置
HISCL™-800**

医療機器製造販売承認番号：288IX10014000012

**製造販売元
シスメックス株式会社**

(お問い合わせ先)

支店 仙台 022-722-1710	北関東 048-600-3888	東京 03-5434-8550	名古屋 052-957-3821	大阪 06-6341-6601	広島 082-248-9070	福岡 092-687-5380
営業所 札幌 011-700-1090	盛岡 019-654-3331	長野 0263-31-8180	新潟 025-243-6266	千葉 043-297-2701	横浜 045-640-5710	静岡 054-287-1707
金沢 076-221-9363	京都 075-255-1871	神戸 078-251-5331	高松 087-823-5801	岡山 086-224-2605	鹿児島 099-222-2788	

www.sysmex.co.jp

注：活動及びサイトの運用範囲は規模により異なります。
詳細は www.sysmex.com のID 0910580004 を参照。
Note: Scope of sites and activities vary depending on the standard.
For details, refer to the ID 0910580004 at www.sysmex.com

2504



i が描く新たな地平。

**Aplio i-series
Prism Edition**





【一般的名称】汎用超音波画像診断装置	【販売名】超音波診断装置	Aplio i900 TUS-AI900	【認証番号】228ABBZX00020000
【一般的名称】汎用超音波画像診断装置	【販売名】超音波診断装置	Aplio i800 TUS-AI800	【認証番号】228ABBZX00021000
【一般的名称】汎用超音波画像診断装置	【販売名】超音波診断装置	Aplio i700 TUS-AI700	【認証番号】228ABBZX00022000

J000160-01

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life